

《 高濃度ビタミンC点滴療法のご案内 》

マリヤ・クリニックでは1999年のH.リョーダン博士との出会いの後1年間を研究に費やし、2001年から高濃度ビタミンC点滴療法を日本で最初に始めました。ガン以外にも免疫力強化に非常に効果があるので、治療をご希望の方は以下の内容をご覧の上、院長に御相談ください。なお、効果的な治療の為にはコラーゲン生成や膜転移を予防する栄養素も必要です。

(1) 概要

ビタミンCは大量に投与されると、細胞に強力なコラーゲンの膜を生成して、この膜がガン細胞を包み込むことにより、浸潤を抑制します。血液と共に運ばれたビタミンCは、代謝される過程で過酸化水素を発生します。正常細胞は過酸化水素を分解する酵素カタラーゼによって守られますが、ガン細胞はカタラーゼ活性が低いという特徴を持っています。よって発生した過酸化水素は他の正常細胞を傷つける事なく、ガン細胞のみを選択的に攻撃し死滅させます。現在一般的に使われている他の抗ガン剤と違い、免疫細胞を活性化します。

従来の抗ガン剤治療による副作用、放射線治療による精神的・身体的消耗の激しさに対し、ビタミンC点滴療法は患者さんのQOL(生活の質)を落とすことのない治療法として注目されつつあります。

(2) この治療が適応となる方:

高濃度ビタミンC点滴療法は、細菌やウイルス感染全般、またはガンにおける補助的治療として使われています。この治療法は、他の効果的、確認済みの治療にとってかわるものではなく、むしろ次の場合に行うべきと考えられます。

- ① 明らかな有効な方法がない場合
- ② 従来の治療方法で改善が見られない場合
- ③ 現在確認済みの治療方法と並行して行う場合
- ④ その他適応疾患:悪性腫瘍、感染症、神経疾患、膠原病、疲労感、重度のつわり、アトピー性皮膚炎、熱傷直後の炎症、血中ビタミンC濃度が低い方

(3) この治療が不適当な方:

- ① ビタミンCに対し過敏性のある方
- ② 腎機能の弱い方・透析中の方(治療前に腎機能検査を行います)
- ③ 心不全の方
- ④ G6PD欠損症の方(ビタミンCを増量する前にG6PD検査をします)

(4) 副作用について

殆ど副作用のない安全な治療だと言われてはいますが、世界で数例次の副作用が報告されています。

- ① 下痢、嘔吐(点滴前に腎機能検査を行います。点滴中の浸透圧が高い場合にも吐き気が起きることがあります。)
- ② 低カルシウム血症(点滴中にカルシウム製剤、マグネシウム製剤を使用します)
- ③ 溶血(点滴前にG6PDの検査を行います)
- ④ ガンの壊死による出血(稀にあります)
- ⑤ 不眠

(5) 点滴の量と時間:

ガン患者は、血液や組織中、細胞内のビタミンC濃度が低下しています。薬理作用を期待できる適切な濃度のビタミンCは効果が高いと言われています。また、経口摂取では、到達する血中濃度が限られています。

初回は15gのビタミンCを週に2~3回点滴することから始め(この段階でだるさ・痛みの減弱が見られます)、次に25~75g(場合により約100g)を週2~3回まで増量して行います。1回の点滴で使うビタミンCの量は点滴直後のビタミンC濃度が400~430mg/dlまで上がるまで増量し、その後はその量を維持します。

<点滴時間の目安>

ビタミンCの量	15g	25g	50g	75g	100g
点滴時間	30分	50分	100分	150分	200分

※ この他に診察や点滴の準備の時間が掛りますので、十分に時間の余裕をもって来院してください。基本的に予約制です。

(6) ご注意

- ① 高濃度ビタミンC点滴療法は現在、米国および日本国内において医療の標準として広く認められた治療ではありません。
- ② 治療に使用するビタミンCは、院長 柏崎良子が治療研究用に輸入したもので厚生労働省の許可を受けている医療品ではありません。よって確実な治療効果を約束できるものではありません。また、なんらかの事故が起きた場合にも厚生労働省に責任を追及することはできません。

(7) 当院で使用するビタミンC:

バイオニッシュ社 アスコルビン酸(ビタミンC)点滴製剤 USP500mg/mL

- ① 米国・カナダの大学や研究所における治験・臨床研究に必ずと言って良い程使用される信頼性の高い製剤です。
- ② 品質管理を最重要と考え、最高の無菌充填装置を使用しています。
- ③ 温度管理コンテナを用いて空輸し、USP(米国薬局方)に遵守した安全な製剤を、直接アイルランド工場より当院へ届けられます。
- ④ 500mg/ml で、1バイアルは、25g/50ml。(遮光瓶を使用)

(8) 料金:(自費診療)

ビタミンCの量	~25g	50g	75g	100g	125g
料金	6,300円	12,600円	18,900円	25,200円	31,500円
その他検査費用	G6PD 検査:10,500円 ビタミンC 血中濃度検査:5,250円				

※ 医療保険適用はありませんので、自己負担となります。以下は抗ガンのための経費です。

- ① 点滴は週 2~3 回が必要です。
- ② G6PD の検査(初回のみ、赤血球の膜が溶血を起こしやすい体質がないかどうかの検査)
- ③ ビタミンC 血中濃度測定を月に1回(自費)ほど行います。
- ④ 点滴効果を高めるために、経口サプリメントを摂取します。
- ⑤ 月1回、身体の栄養状態と腫瘍マーカーなどを検査する料金が別にかかります。
- ⑥ 別途診察料のほか、下表の注射用水・点滴料(マグネシウム製剤、カルシウム製剤)が自費発生、その他αリポ酸、グルタチオン酸の混注は希望をお受け致しますのでお申し付け下さい。

αリポ酸 25mg	210円	マグネシウム製剤	140円
グルタチオン 100mg	210円	点滴料	950円
注射用水 500ml	135円	ソリタ T3 200cc	152円
カルシウム製剤	140円	ビタミンB1 製剤	130円
αリポ酸 300mg	2,520円		

※ 治療中の体調管理が大事です。最寄りの看護師か管理栄養士に御相談・お伝えください。

マリヤ・クリニック 千葉県稲毛区小仲台6-19-19MYビル
Tel.043(287)2624 Fax.043(287)2610 info@mariyaclinic.com

高濃度ビタミンC点滴療法

〔 同意書 〕

年 月 日

マリヤ・クリニック
院長 柏崎 良子殿

同時添付の高濃度ビタミンC点滴療法の説明書2頁の内容を理解し、この治療を受けることを依頼します。治療にあたっては、治療の注意点を守り、医師に協力して対応いたします。また、症状の改善が見られない場合もあることを確認しております。この治療が治療研究におけるものであることを理解し、データが匿名で公表される場合もあることに同意します。

患者名.....男・女

生年月日（西暦）.....年 月 日 年齢.....歳

家族氏名.....

緊急の場合の連絡先（.....）.....

住所.....〒.....

電話番号.....

E-mail:.....

ご署名.....

記

高濃度ビタミンC点滴療法は、米国および日本国内において、医療の標準として広く認められた治療ではありません。

治療に使用するビタミンCは、院長 柏崎良子が治療研究用に輸入したもので、厚生労働省の許可を受けている医療品ではありません。よって確実な治療効果を約束できるものではありません。また、なんらかの事故が起きた場合にも厚生労働省に責任を追及することはできません。

◎ 個人情報について

当院では、個人情報保護に関する法律を遵守し厳重な管理の下に患者さんの情報を取り扱っております。